

# つながる・ひろがる 若者と地域の輪

～札幌市勤労青少年ホーム レッツポプラ～

今月の特集は、区内にある施設「レッツポプラ」を利用している3人の方に編集に参加していただきました。レッツポプラから広がるまちづくりの輪をご紹介します。



同じ趣味や興味を持った同年代の人たちとの活動を通して仲間の輪を広げることができる場所です。

施設には、体育室や調理室、音楽室などがあり、現在、8つのサークル・同好会が定期的に活動しているほか、若者たちが主体となってさまざまなイベントや講座を、年間を通して開催しています。

## レッツポプラって？

「レッツ」は札幌市勤労青少年ホームの愛称です。市内に5カ所あり、その一つが白石区の「ポプラ」です。

イベントなどの企画運営は、利用者一人一人が主役です。互いに意見を尊重し合い、信

ポプラは、市内に居住か通勤・通学する15歳から29歳までの青少年（中学生・全日制高校生を除く）が利用できる施設です。

## 運営は「DONUTS（ドーナツ）」の手で

DONUTSは、レッツごとに利用する若者たちで作る会です。

また、町内清掃、地域のイベントやお祭りの企画運営への協力を通じ、地域の方との交流の輪を広げています。

名前の由来は食べ物のドーナツ。「丸いドーナツのように人と人をつなげる輪をつくっていこう」という思いが込められています。

## 地域へ広がる交流の輪

ポプラの活動は、地域にも広がっています。



ハンドボール（毎週水曜）



バレーボール（毎週金曜）



バドミントン（毎週火曜）

ポプラの皆さんは、町内清掃や子ども雪まつりに積極的に参加してくれています。

## 地域の声



白石中央東親交会長  
かが やすゆき  
加賀 靖之さん



▲ちびっこテニス交流会



▲地域の方と町内清掃

